

2026 年度 入学試験問題

## 公募制推薦入試

2025 年 11 月 15 日 (第 1 日)

第 2 限

国

語

【現代の国語、言語文化  
[古文・漢文は含まない]】

### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
- 2 この問題冊子は 24 ページである。
- 3 解答番号は 1 から 45 までである。
- 4 解答用紙には、受験番号、受験科目および氏名を正しく記入・マークすること。
- 5 解答は解答用紙の解答欄にマークすること。
- 6 試験中にページの脱落等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。  
解答用紙の汚れ等に気付いた場合も同様である。
- 7 問題冊子は試験終了後、持ち帰ること。

## 第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

倫理とは、「人間がよりよく生きるために何をすべきなのかを説明する、ある規範の体系<sup>A</sup>」である。定義には「規範」という言葉が含まれている。規範とは、「〇〇するべきである」という形で表現される主張のあり方である。そして規範は、「〇〇である」という事実の主張と、「〇〇したい」という選好の主張から、それぞれ区別される。

次のような状況を考えてもらいたい。あなたが海岸線をドライブしていると、波にさらわれそうになっている子どもを見かけたとする。その子どもは自分の力では絶対に波に逆らえそうにない。幸い、いまあなたが海に飛び込めば、その子どもを助け出すことが可能だ。〔ア〕

このような状況に遭遇したとき、あなたの前には行為の選択肢が開かれる。ドライブを中断してその子どもを助ける。ドライブを続けてその子どもを見殺しにする。あるいは、その子どもは助けたいが、自分が海に飛び込むのはばかられるので、他に助けを呼ぶ。いろいろな選択肢があるだろう。とにかくあなたはそこから一つを選ばなければならない。理<sup>B</sup>不尽な話だが、仕方がない。現実の決断とはそのように突然やってくるのだ。

もちろんあなたは何を選んで構わないが、その後起きることは、あなたの選択によって大きく変わることになる。場合によつてその結果に対してあなたは責任を負うことになるだろう。責任を負うということは、自分がなぜその行為を選択したのかを、他者に説明しなければならない、ということだ。

あなたが海に飛び込んでその子どもを助けたとしよう。しかし、この段階ではあなたが倫理的な行為をしたと言えるかどうかは、まだ分からない。もしかしたらあなたは、海で溺れている人を見たら助けるのが趣味であり、助けたくて仕方なくて、ウキウキしながら海に飛び込んだかもしれないからだ。この場合には、あなたは規範に従ってその子どもを助けたことにはならない。あなたは単に「溺れている人を助けるのが好きだ」から助けたのであり、それは選好に基づいているのであって、規範に基づいているわけではないからだ。したがって、この場合にはあなたの行為は倫理的ではない。〔イ〕

それに対して、あなたが「生命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきである」という規範に基づいてその子どもを助けたなら、その行為は倫理的である。〔ウ〕

あなたはその子どもを助けたことで、ビショビショに濡れて帰宅し、そのことを家族から問い詰められるかもしれない。しかし、そのときあなたは次のように応答することができる。「目の前で生命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきだ。だから助けたんだ」と。このように、倫理的な規範は自分の行為を他者に対して説明し、その行為の正当化を可能にする。正しい規範に基づいて行為することは、他者への責任を果たす上で欠かすことのできないものである。〔エ〕

反対に、あなたがドライブを続けることを優先し、その子どもを見殺しにしてしまったら、どうなるだろうか。もしもあなたが気づいていないところで、あなたが子どもを見殺しにしたことを目撃した人がいたら、あなたはその子どもを見殺しにした責任を問われるかもしれない。そのときには、「なぜ、生命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきなのに、お前はその子どもを見殺しにしたんだ」とヒナンされるかもしれない。そのヒナンに対して自分の行為を正当化できないなら、あなたの行為は倫理的に間違っていたことになる。〔オ〕

では、こうした「倫理」と「倫理学」の違いはどこにあるのだろうか。

倫理とは単なる規範の体系である。それに対して、倫理学とは、その体系の妥当性を明らかにする学問である。妥当性とは、正しいと考えられる根拠がある、ということだ。このことは、言い換えるなら、単なる倫理には、その妥当性が明らかにされていない規範も含まれている、ということである。

例えば、東京でエスカレーターに乗るとき、多くの人は左に立つが、大阪では右に立つ。なぜということはないが、とにかくそうする「べき」ということになっている。それも一つの規範ではあるだろう。実際、みんながこの規範に従うことで、エスカレーターの世界には一定の秩序が形成されていることも事実である。

しかし、この規範には妥当性がない。「なぜ大阪ではエスカレーターの右に立つべきなのか」と問われたとして、この問いに対する満足のいく答えなど誰にも説明できないだろう。強いて言えば、「みんなが右に立つから」だろう。しかしそれは答えに

なっていない。なぜなら、「みんなが右に立つ」ということは事実であって、規範ではないからだ。「みんなが右に立つ」ということは、「だから、みんなが右に立つべきである」ということを意味しない。それは、「この世界に犯罪がある」ということが、「だから、この世界に犯罪があるべきである」ということを意味しないと同様である。

妥当性がない規範とは、それがなぜ正しいのかを説明できない規範である。そうした規範に従っているとき、人々は、自分がなぜその規範に従うべきなのかを、理解することも説明することもできない。それに対して、どのような規範に妥当性があるのか、そもそも妥当性があるとはどういうことなのかを探究することが、倫理「学」の仕事である。

このようなことを書くと、そもそもエスカレーターで左右のどちらに立つべきか、ということは倫理でも何でもない、という反論が返つてきそう<sup>F</sup>だ。それは単なる「習慣」に過ぎないのであつて、倫理と呼ばれるようなオオギョウ<sup>b</sup>なものではない、と。

確かにそうかもしれない。しかし、そもそも「倫理 ethics」という言葉は古代ギリシャ語の「ethos」に由来し、この言葉はもともと「習慣」を意味していた。倫理と習慣は語源において兄弟なのである。言うまでもなく、習慣に妥当性があるとは限らない。「郷に（<sup>G</sup>）は郷に従え」と言うが、絶対に右ではなく左に立つという信念を持った人に対して、どんなに言葉を尽くしても、大阪でエスカレーターに乗るときに右に立つことを納得させることはできないだろう。それが「大阪ではエスカレーターで右に立つべきである」という規範の **I** なのである。

では、妥当性を持つ規範とはどのようなものだろうか。

例えば、「生命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきである」という規範は、エスカレーターでどちらに立つかという規範よりは、妥当性が認められそう<sup>c</sup>だ。なぜなら、この規範に人々が従わなければならない理由をさらに説明できるからである。倫理学のリョウイキ<sup>c</sup>ではこの作業を「基礎づけ」と呼ぶ。この場合には、「なぜなら、人間の生命にはソング<sup>d</sup>があるから」という基礎づけが可能だろう。

ただし、この基礎づけそのものの妥当性もさらに問い直すことができる<sup>H</sup>。規範の妥当性を説明する理由にも妥当性が問われるのである。

（戸谷洋志<sup>とやひろし</sup>『未来倫理』による。なお、設問の都合上、原文を一部改変した箇所がある。）

問一 問題文には次の一文が欠落している。補うべき場所として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

1

あるいはそこで沈黙してしまつたら、それは無責任だ。

- ① 「ア」 ② 「イ」 ③ 「ウ」 ④ 「エ」 ⑤ 「オ」

問二 傍線部 a～d と同一の漢字を使うものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

a 2

b 3

c 4

d 5

a ヒナ<sup>ン</sup>

- ① ヒコウに走る  
 ② ヒニクを言う  
 ③ 論理のヒヤク  
 ④ 容疑をヒニンする  
 ⑤ ヒロウエンを行う

b オオギョウ

- ① 一点をギョウシする  
 ② 血液がギョウコする  
 ③ ギョウテンにいくつか星が見えた  
 ④ ギョウテンして腰を抜かす  
 ⑤ 古代史にツウギョウしている

c リヨウ<sup>ウイキ</sup>

- ① 一挙リョウトク  
 ② 公序リョウゾク  
 ③ リョウシユウ書をもらう  
 ④ 多くの人をミリョウする傑作  
 ⑤ 曖昧さのないメイリョウな表現

d ソン<sup>ゲン</sup>

- ① 危急ソンボウの秋とき  
 ② シソンに遺言を残す  
 ③ ソントク勘定で動く  
 ④ ケンソンしていばらない  
 ⑤ 上から目線のソنداイな態度

問三 傍線部A「体系」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

6

- ① 教訓や風刺を織りこんだ、示唆に富む物語
- ② 個々の要素が秩序立って整理されたまとまり
- ③ 優先して達成すべき重要事項の膨大なリスト
- ④ 事物について細部に至るまで詳細に解説したもの
- ⑤ 善悪を見極め、正しいおこないをするための価値観

問四 傍線部B「理不尽」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

7

- ① 将来ある子どもの命が失われようとしているから。
- ② 自然の大きな力を前にして人間は無力であるから。
- ③ 「あなた」の置かれた状況を知らない他者に対して、「あなた」の行動の理由を説明しなければならないから。
- ④ あまりに短い時間で重大な決断をしなければならないから。
- ⑤ 他者の命と自分の命とを天秤てんびんにかけなければならないから。

問五 傍線部C「この段階ではあなたが倫理的な行為をしたと言えるかどうかは、まだ分からない」とあるが、それはなぜか。

その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 何が倫理的に本当に正しいおこないなのかは、決めがたいものだから。
- ② 倫理的と言えるかどうかは、助けることを選択したその動機次第だから。
- ③ 「あなた」は単なる自らの個人的な欲求に基づいて子どもを助けただけだから。
- ④ 「あなた」の正義感が他者にも受け入れられるものかどうか、分からないから。
- ⑤ 倫理的か否かは最終的な結果次第であり、救出直後ではその後の安否が不明だから。

8

問六 傍線部D「言い換えるなら」とあるが、どのような目的の言い換えがなされているか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 暗に前提とされていることを明確化するための言い換え
- ② 難解な論述を、噛み砕いて分かりやすくするための言い換え
- ③ 同一の概念を、異なる分野の用語に変換するための言い換え
- ④ 抽象的な説明を、読者に身近な話に喩えてイメージしやすくするための言い換え
- ⑤ 不正確で誤りがあった部分を訂正し、信頼性の高い説明に改善するための言い換え

9

問七 傍線部E「それは、「この世界に犯罪がある」ということが、「だから、この世界に犯罪があるべきである」ということを

意味しないのと同様である」とあるが、エスカレーターに関する話題のなかで犯罪の話題を取り上げた筆者の意図は何だと考えられるか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

10

- ① 事実とは何か、規範とは何か、ということについて、両者の違いを解説するための具体例をあげるため。
- ② 身近な話題から社会問題に至るまで、倫理学で取り扱うテーマの範囲が非常に広いということを示すため。
- ③ ある事実が存在するからと言って、それを根拠に規範を導き出すことはできないということを示す、極端な例を用いて明確化するため。
- ④ 社会規範からの逸脱行為である犯罪を事例として、倫理・倫理学の分野におけるより重要なトピックを導入するため。
- ⑤ なぜこの世界に犯罪があるのかという問いも、エスカレーターの問いと同様に、誰も満足に答えられないことを示すため。

問八 傍線部F「反論が返ってきそうだ」とあるが、それはどのような反論で、また、その反論に対して筆者はどのように返しているか。それぞれの説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

11

①【反論】 エスカレーターで右に立つか左に立つかというのは単なる「習慣」の問題であって、「倫理」の問題ではない。

【筆者の返し】 「習慣」と「倫理」とを無関係な別物とすることは適当ではない。

②【反論】 エスカレーターでの立ち位置については、「倫理」と呼ぶにはあまりに重みのない小さな問題である。

【筆者の返し】 エスカレーターでの立ち位置は、「倫理」と見なすべき重大な問題である。

③【反論】 エスカレーターでの立ち位置をどうこうすべきという規範に倫理的な妥当性はない。

【筆者の返し】 確かに、エスカレーターでの立ち位置は「習慣」の問題であるため、倫理的な妥当性を問うことにはできない。

④【反論】 「習慣」と「倫理」とは語源的には別物であるため、エスカレーターでの立ち位置という「習慣」は倫理学で扱う問題ではない。

【筆者の返し】 古代ギリシャ語まで遡ると、「習慣」は「倫理」と語源的に関係があることが分かる。

⑤【反論】 エスカレーターで右・左のどちらに立つべきかは地域的な「習慣」によって異なり、普遍的な「倫理」が存在するわけではない。

【筆者の返し】 確かにそのとおりで、地域的な「習慣」である以上、なぜそうすべきなのかについて誰もが納得するような説明はできない。

問九 傍線部Gは、「よその土地では、自分の土地とは異なる習慣があったとしても、その土地の習慣に従うのがよい」という

意味のことわざから一部分を抜いて空欄にしたものである。空欄（ ）に入ることばとして最も適当なものを、次の

①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 行って      ② 入って      ③ 住んで      ④ 就いて      ⑤ 做って

12

問十 空欄 I に入ることばとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

13

- ① 解釈      ② 限界      ③ 象徴      ④ 定義      ⑤ 矛盾

問十一 傍線部H「この基礎づけそのものの妥当性もさらに問い直すことができる」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

14

① 倫理的な規範の正しさについては、その規範に人々が従わなければならない理由や根拠を示すことで、裏づけることができるということ。

② 「人間の生命にはソングンがある」という主張が妥当なものであることを示す根拠を追加で提示し、論を補強することが可能だということ。

③ ある規範の妥当性を説明するためにあげた根拠について、その根拠自体が妥当であるかを突きつめて検討するという作業が、倫理学ではなされるということ。

④ 「人間の生命にはソングンがあるから」という基礎づけは、重要概念である「ソングン」とは何かがそもそも定義されていなくため、無効であるということ。

⑤ 「生命を脅かされている子どもがいたら、その子どもを助けるべきである」というような、一見して明らかに正しいように思える規範にすら、倫理学では疑問を投げかけるということ。

問十二 問題文の内容に最も合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

15

- ① 倫理学とは、正しい規範を示すことで、悪しきおこないを戒め、人々が善行に向かうように導くための学問である。
- ② 「〇〇すべき」という規範であっても、それが「習慣」に関するものである場合、その規範は倫理的に妥当とはいえない。
- ③ 倫理学において、規範は、「〇〇である」という事実を根拠にするものと、「〇〇したい」という選好を根拠にするものとに区別される。
- ④ 「大阪のエスカレーターでは右に立つべきである」という規範は根拠による裏づけができないため、倫理的に間違っているということになる。
- ⑤ 規範の正しさについて、本当に正しいのか、なぜ正しいといえるのか、そもそも正しさとは何なのかなどを検討することが倫理学の仕事である。

## 第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

皆さんは「デジタル」という言葉を聞いて、どのような印象を抱くだろうか。少し考えてみただけでも、「デジタル技術」「デジタル時計」「デジタル放送」など、我々の周りには「デジタル」が氾濫しているわけだが、普段はその意味を深く吟味することもなく、先端的で優れていることを指していると、ぼんやり思っている人も多いのではないだろうか。中には「デジタルパーマ」のように、何がどう「デジタル」なのかよくわからないままに広まっているものもある。ヘアスタイルが「デジタル」とは一体どういうことなのか。〔ア〕

とにかく、コンピュータとインターネットが普及した現代においては、「デジタル」は高度な技術の代名詞としての地位を確立している。そのため、あらゆるものの「デジタル化」がキツキンの課題として語られ、これに対応できないことは時代遅れで社会的損失につながるというフウチヨウウ<sup>B</sup>すらある。こうなってくると「デジタル」に付与された正の価値は反転し、冷たくて無感情で高圧的というイメージも生まれてくる。実際、ご年配の方を中心に、「デジタル」と聞くともうそれだけで苦手意識が出てしまうという人も多いのではないだろうか。〔イ〕

そうだとすると、「デジタル」の対義語である「アナログ」にも、ちょうど裏返しになったような形で正と負の両方のイメージが結びついていると言うことができる。つまり、時代遅れで技術的に劣っているというネガティブなイメージがあるのと同時に、懐かしさや温かみを感じさせるという好意的なイメージもまた、「アナログ」という言葉は連想させるのだ。〔ウ〕

例えば音楽の世界では、高音質のデジタル音源をネットワークを介して気軽に配信できるようになったことで、同じデジタル音源を扱う記録<sup>C</sup>。バイタイであるCDの存在意義は完全に薄れてしまった。しかしそれとは対照的に、昔ながらのレコード、I アナログレコードの需要は、CD全盛の時代に比べてむしろ高まっていると言われている。

ビニールでできた円盤に針を当てて音を出すという、原理としては蓄音機の時代から変わらない方法を用いているアナログレコードは、ホコリや静電気、そして盤面自体の傷などに起因するノイズとは無縁ではあり得ない。音質面に明らかかな弱点を抱え

ているにもかかわらず、アナログレコードはジャケットなども含めたグッズとしての魅力だけでなく、そのノイズ混じりの音そのものに対して好意的な評価を受けることが少なくない。〔E〕

「レコードの音が懐かしい」「デジタル音源にはない温かみがある」「いや、実はアナログの音の方がデジタル音源よりも優れている」など、評価の理由は様々でありここでその **II** を問うことはできないが、とにかくこの「デジタル」優位の時代において「アナログ」がダメとは限らないということはこの例は示している。

と、ここまで「アナログ」と「デジタル」にまつわる印象について長々と述べてきたが、何故このような印象が生まれてくるのか。〔オ〕

「アナログ」と「デジタル」を区別する上で最も重要な基準は、それが連続的な量を用いるか離散的な量を用いるかにある。先述の音楽を再び例に挙げて説明しよう。音楽とは一定の時間に渡って持続する音の波の集まりであり、ある種の連続した量と見なすことができる。これを記録したり表示したりする際に、音が作り出す振動をレコード盤に直接刻みつけるのが「アナログ」であり、周波数の山や谷を数値に置き換えてしまうのが「デジタル」という方式である。音楽という連続的な量を、レコードの溝というこれまた連続的な量によって再現しようとするのか、離散的、つまりバラバラな数値によって構成されたデータに変えてしまい、そのデータの機械的な処理によって再現しようとするのか、両者を分ける根本的な相違点だと言える。

音楽の例でわかりにくければ、手足のサイズを測る時のことを考えてみて欲しい。この場合、石膏などで型取りをするのが「アナログ」で、縦・横・高さなどの数値を測定しておくのが「デジタル」である。手足の型があれば、そこに粘土などを流し込むことによって実寸大の手足を再現する作業は容易であり、爪や毛の形のようなセンサイなニュアンスまで表現できる。

**III**、縦が何センチで横が何センチだと言われても、その手足がどのような形をしているのかを思い浮かべることは難しい。また、爪や毛のデータまで事細かに記録しておかなければ、それはまるでなかったことにされてしまい、単に手足の大きさの情報だけが残ることとなる。

しかし、石膏で取った型は時間が経つにつれて摩擦や変形をしてしまい、最悪の場合壊れてしまう。「アナログ」は情報量と

表現の豊かさを誇る反面、再現性に乏しく劣化しやすいという性質を持っているのである。対して「デジタル」の方はどうかと言うと、ただの数値の寄せ集めではあるが、ひとたびそのデータが取られてしまえば何度でも同じように再現することが可能である。後はデータのサンプル数を増やし、離散的な数値を連続的な量に再変換するための技術を向上させれば良い、ということになる。余談ではあるが、冒頭で紹介した「デジタルパーマ」はその別名を形状記憶パーマとも言い、他のパーマより持ちが良くスタイリングをキープしやすいという特徴がある。要するに、劣化しにくく再現性が高いから「デジタル」と呼ばれているらしい。厳密に言えば「デジタル」そのものではないが、意外にちゃんとした理由があったのだ。

そんなことはさておき、我々が忘れてはならないのは、何かの量を別の何かの量に置き換えて表現する「アナログ」と、何かの量ではなく抽象的な数値に変換する「デジタル」は、あくまでそれぞれに **IV** があって、どちらかが一方的に優れていてどちらかが絶対的に劣っているというのではないということだ。また、「デジタル」は必ずしもコンピューターのような高度なテクノロジーを意味しているのではなく、あくまで演算の得意なコンピューターが「デジタル」という方式と相性がいいというだけなのである。

ただ、現代という時代がこうも「デジタル」礼賛一辺倒になってしまうと、「アナログ」が懐古趣味を満足させるためだけの単なる余技的なものだと見なされてしまうのも無理はない。そのような誤解を払拭するためにも、「アナログ」は懐かしさや温もりをイメージさせるといふ表面的な理解を超えて、その根底にある思想を取り出さなければならぬのではないだろうか。

（中島啓勝『ておくれの現代社会論』<sup>マルマル</sup>〇〇と<sup>カクカク</sup>□□ロロジー』による。なお、設問の都合上、原文の一部を改変した箇所がある。）

問一 問題文には次の一文が欠落している。補うべき場所として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

16

それを知るためには、結局のところこの二つの概念が何を表しているのかを確認しておかなければならないだろう。

- ① 「ア」 ② 「イ」 ③ 「ウ」 ④ 「エ」 ⑤ 「オ」

問二 傍線部 a～d と同一の漢字を使うものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

a 17

b 18

c 19

d 20

a キツキン

- ① 出入りキンシになる  
 ② キンダイ的な価値観  
 ③ キンチヨウを和らげる  
 ④ ジョウキンの職に就く  
 ⑤ キンカン楽器を演奏する

b フウチヨウ

- ① ケンチヨウ所在地  
 ② ピアノのチヨウリツ  
 ③ 困難にチヨウセンする  
 ④ 海面がマンチヨウになる  
 ⑤ 病気のチヨウコウがある

c バイタイ

- ① バイウ前線  
 ② 所得がバイゾウする  
 ③ 商品をテンバイする  
 ④ 裁判のバイシンイン  
 ⑤ バイシャクニンを務める

d センサイ

- ① 理論とジッセン  
 ② 植物の茎のセンイ  
 ③ 選手センセイをする  
 ④ ウイルスにカンセンする  
 ⑤ 歴史的ヘンセンをたどる

問三 空欄

I

・

III

に入ることばとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(同一選択肢の反復使用は不可)

- ① さながら
- ② その一方で
- ③ だから
- ④ つまり
- ⑤ まるで

I

21

III

22

問四

傍線部A「代名詞」の問題文中の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

23

- ① 珍しい具体例
- ② 伝統的で格式高い名詞
- ③ 名詞の代わりに用いられる語
- ④ 「彼」「あなた」など人称を表す言葉
- ⑤ そのものをよく表している代表的な例

問五 傍線部B「『デジタル』に付与された正の価値は反転し、冷たくて無感情で高圧的というイメージも生まれてくる」の説  
明として最も適当なものを、次の①～⑤から一つ選べ。

24

① 「『デジタル』という言葉は、「懐かしさや温かさ」というイメージとは裏腹に、威圧的で無礼なイメージも伴うこと  
なる、ということ。

② 「『デジタル』という言葉は、「先端的で優れているもの」というイメージとは裏腹に、もともと高齢者を排除する意味  
合いを含意してしまっている、ということ。

③ 「『デジタル』という言葉は、「高度な技術」のイメージとは裏腹に、それについてこられない者を容赦しないという冷  
淡なイメージも伴うことになる、ということ。

④ 「『デジタル』という言葉は、「時代遅れ」「社会的損失」というイメージとは裏腹に、インターネットなどの普及に  
よって「高度な技術」を表すようになる、ということ。

⑤ 「『デジタル』という言葉の持つ「高度な技術」のイメージとは裏腹に、何が「『デジタル』」なのか不明なもので「デ  
ジタル」という言葉を冠して普及してしまっている、ということ。

問六 空欄Ⅱに当てはまる言葉として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

25

- ① 有無      ② 強弱      ③ 新旧      ④ 是非      ⑤ 存否

問七 傍線部C「この『デジタル』優位の時代において『アナログ』がダメとは限らない」のはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

26

- ① 「デジタル」は「アナログ」よりも優れているが、それだけで「アナログ」を排除するのはあまりに無慈悲であるから。
- ② CD全盛の時代ではなくなってしまった今、アナログレコードで音楽を聴く方がむしろ「デジタル」の特徴に合致していると言えるから。
- ③ 「アナログ」は「時代遅れで劣っている」というイメージがある反面、「懐かしい」「温かみがある」などの理由で評価されるものでもあるから。
- ④ 「アナログ」という言葉の持つ「時代遅れで技術的に劣っている」というネガティブなイメージはあくまで幻想であり、事実とはかけ離れているから。
- ⑤ アナログレコードが音質面に明らかな弱点を抱えていても、デジタル技術によって音質を補完することが可能であるように、「アナログ」と「デジタル」は共存し得るものであるから。

問八 傍線部D「アナログ」と「デジタル」を区別する上で最も重要な基準は、それが連続的な量を用いるか離散的な数値を用いるかにある」とあるが、その具体例の説明として最も適当なものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選べ。

27

- ① 「アナログ」の例として、レコード盤にはデジタルにはない温かみがあり優れている、ということが挙げられる。
- ② 「アナログ」の例として、音の作り出す振動をレコードの溝という離散的な量によって表示する、ということが挙げられる。
- ③ 「デジタル」の例として、手足のサイズを測る際、縦が何センチで横が何センチでというようにデータを事細かに測定しておく、ということが挙げられる。
- ④ 「デジタル」の例として、型に粘土などを流し込み、実寸大の手足や爪、毛などというセンサイなニュアンスまでも細かく表現する、ということが挙げられる。
- ⑤ 「デジタル」の例として、連続した音の集まりである音楽を、これまた連続的な数値に変換し、機械的処理によって再現しようとする、ということが挙げられる。

問九 傍線部E「意外にちゃんとした理由があったのだ」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤から一つ選べ。

28

- ① 「デジタルパーマ」は離散的な数値を用いるわけではないという点で厳密には「デジタル」とは言えないが、先端的で優れているという点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えるということ。
- ② 「デジタルパーマ」は表現の豊かさを誇るという点で厳密には「デジタル」とは言えないが、同じスタイリングを維持しやすく再現性があるという点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えるということ。
- ③ 「デジタルパーマ」は先端的で優れているというわけではないため、厳密には「デジタル」とは言えないが、同じスタイリングを維持しやすく再現性があるという点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えるということ。
- ④ 「デジタルパーマ」は離散的な数値を用いるわけではないという点で厳密には「デジタル」とは言えないが、再現性に乏しく劣化しやすいという性質を持つている点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えるということ。
- ⑤ 「デジタルパーマ」は離散的な数値を用いるわけではないという点で厳密には「デジタル」とは言えないが、同じスタイリングを維持しやすく再現性があるという点では、「デジタル」の特徴と部分的に合致すると言えるということ。

問十

空欄

IV

に入る言葉として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

29

- ① 一問一答
- ② 一喜一憂
- ③ 一進一退
- ④ 一朝一夕
- ⑤ 一長一短

問十一 問題文の内容に最もよく合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

30

- ① 何かの量を別の何かの量に置き換えて表現する「アナログ」と、量ではなく抽象的な数値に変換する「デジタル」とでは、「デジタル」の方が便利である。
- ② 「デジタル」と「アナログ」の間には、情報を離散的な変化で表すか連続的な変化で表すかという差異は存在するものの、優劣が存在するとまでは言えない。
- ③ 「高度な技術」というイメージのみで理解されがちな「デジタル」は、実のところ、連続的な数値を用いることで、劣化しにくく再現性の高いものを生み出せるという特徴も有している。
- ④ 「アナログ」は表面的には懐かしさや温もりをイメージさせ、懐古趣味を満足させるものだが、その根底には、連続的な量を用いることで、表現の豊かさと再現性の高さを発揮するという特徴がある。
- ⑤ 現代は「デジタル」と名の付くものが氾濫し、「デジタル」礼賛一辺倒になっているが、数値化されたデータはあくまで再現性に優れているだけで現実そのものを正確に写し取っているわけではないため、「デジタル」を捨て去り、「アナログ」的なものを採用すべきである。

第三問 次のそれぞれの問いに答えよ。

問一 (i) ～ (v) の空欄に入ることばとして最も適当なものを、次の各群の ① ～ ⑤ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 昨年の陸上競技全国大会では、あと一息のところまでライバルに負けてしまったが、今年こそは必ず雪辱を  だ。  
つもり

- ① 致す      ② 流す      ③ 果たす      ④ 晴らす      ⑤ 満たす

31

(ii) 長年不調が続いた選手に引導を  。

- ① 送る      ② 示す      ③ 託す      ④ 譲る      ⑤ 渡す

32

(iii) 捜査は暗礁に  しまった。

- ① 埋まって      ② 陥って      ③ 立ち入って      ④ 乗り上げて      ⑤ 踏み込んで

33

(iv) ケガで降板していた選手がリハビリに励み、今期、満を  試合に出場した。

- ① 講じて      ② 持して      ③ 足して      ④ 転じて      ⑤ 欲して

34

(v) 不祥事を起こした芸能人は、しばらくの間、鳴りを  いた方がよい。

- ① 集めて      ② 隠して      ③ 止めて      ④ 潜めて      ⑤ 求めて

35

問一 (i) ～ (v) と対照的な意味をもつことばとして最も適当なものを、次の各群の ① ～ ⑤ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 高尚

① 安泰

② 傘下

③ 低俗

④ 卑屈

⑤ 矮小

36

(ii) 不毛

① 壮大

② 多寡

③ 如実

④ 富豪

⑤ 肥沃

37

(iii) 陳腐

① 肝要

② 嚴密

③ 斬新

④ 純粹

⑤ 鮮明

38

(iv) 安易

① 困窮

② 熟練

③ 慎重

④ 難色

⑤ 複雑

39

(v) 悠長

① 概略

② 過激

③ 狭量

④ 性急

⑤ 早計

40

問三 (i) ㄱ (v) のことばの使い方として最も適当なものを、次の各群の ① ㄱ ⑤ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 機微

- ① 心に余裕がないときに読んでも、この小説の機微に触れることはできない。
- ② 幼少の頃から機微で優しい性格だった妹は、現在、看護師として立派に働いている。
- ③ 彼はプレーヤーとして若いとは言えないが、重要な場面で見せる反応はいつも機微だ。
- ④ かつては日本の水辺に生息していたメダカも、今では機微な存在となってしまったという。
- ⑤ 昨日、テレビ番組で携帯電話の内部構造を見たが、そのあまりに機微なさまに驚いてしまった。

41

(ii) 本末転倒

- ① 詐欺師は虚偽の内容をまるで真実であるかのように語って巧みに人々を信じ込ませており、本末転倒である。
- ② 今年の大会では、万年最下位の弱小チームが次々と強豪を打ち破って優勝を果たし、本末転倒の結果となった。
- ③ 事業は成功続きで順調に進んできたが、最後の最後、小さなミスが大失敗につながり、本末転倒となってしまった。
- ④ 社内の小さな問題はスピーディーに解決されていくものの、根本的な問題には誰も気づいておらず、本末転倒だ。
- ⑤ 内容を整理するために文字の色等を工夫して講義のメモをとっているが、こりすぎて話に集中できず、本末転倒だ。

42

(iii) 喧噪けんそう

- ① いくら喧噪しても、賢い消費者は騙だまされない。
- ② 都会の喧噪を離れて、のんびり田舎暮らしをする。
- ③ 書道家の、躍動的で喧噪な筆遣いに心を奪われた。
- ④ 根は正直な人間だが、喧噪の多いのが彼の欠点だ。
- ⑤ 出会った頃は喧噪に明け暮れたが、やっと理解し合えた。

43

(iv) 他山の石

- ① 自分の考え方とは違うアイデアも積極的に採用し、他山の石を取り入れるようにしよう。
- ② 大部分のメンバーが抜けた私たちのチームは、別のチームから他山の石を借りて人手を補った。
- ③ 私たちのチームだけが人員も予算も足りず、不遇を受けており、他山の石をうらやましく思う。
- ④ 先陣を切ったチームの失敗を他山の石として、私たちのチームは同じ目に遭わぬよう注意しよう。
- ⑤ 他所でうまくいったアプローチが、うちでもうまくいくとは限らないのだから、考えなしに他山の石をまねするようではないけない。

44

(v) 恣意的

- ① 彼の発案は、ただの思いつきで、熟考を経していない穴だらけの恣意的な計画だ。
- ② 彼は今、ささいなことでも極度に落ち込みやすく、非常に恣意的な精神状態だ。
- ③ 彼は、ルールを自分にとって都合のよいように恣意的に解釈し、運用している。
- ④ 質問に対して、彼は白とも黒とも言わず、ことばを濁して恣意的な回答をした。
- ⑤ 彼は、何でも人のせいにして、他人に責任を押しつけてばかりの恣意的な人間だ。

45

2026 年度 入学試験問題

## 公募制推薦入試

2025 年 11 月 16 日 (第 2 日)

第 2 限

国

語

【現代の国語、言語文化  
[古文・漢文は含まない]】

### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
- 2 この問題冊子は 24 ページである。
- 3 解答番号は 1 から 45 までである。
- 4 解答用紙には、受験番号、受験科目および氏名を正しく記入・マークすること。
- 5 解答は解答用紙の解答欄にマークすること。
- 6 試験中にページの脱落等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。  
解答用紙の汚れ等に気付いた場合も同様である。
- 7 問題冊子は試験終了後、持ち帰ること。

**第一問** 次の文章は、「味は舌のみで評価するべきだ」と主張する「純粹主義」という考えの是非について書かれたものである。これを読んで、後の問いに答えよ。

昼時にたまたま入ったラーメン屋で注文したラーメンがおいしかったとする。こんなにおいしいならさぞ評判になっているだろうと思い、ネットのグルメサイトをチェックしてみた。しかし、そこでの評価はいまいちだった。そうすると、「やっぱりそんなにおいしくなかったんじゃないか」と思えてくるかもしれない。

**I**、自分が食べたり飲んだりしているものが「二グラム五〇〇〇円相当のキャビア」「三つ星レストランのシェフが作った」「ブルゴーニュ産の五〇年ものヴィンテージワイン」と言われたとしよう。そうすると、もはや「おいしい」としか評価できないように思えてくるのではないだろうか。

**II**、こうした評価はどこかおかしいように思われるだろう。正直に自分が感じたことを言えていない、評価が歪められている、強制されていると感じられる。評価が値段などの情報に左右されてしまうのだ。

しかし、情報に左右されることの何が悪いのだろうか。その理由の一つとして、「そうした情報はおいしさを保証しない」と言われるかもしれない。たとえば、採取できる量が少ない食材のなかには、別においしくはないけれども高いものがある。流通量が少なければ希少価値がついて値段が高くなるので、貴重であれば値段が上がるのだ。そのため、「値段が高い」という情報は、その食べ物を「おいしい」と評価する根拠にはならない。そして、根拠にならない情報がおいしさの評価を左右するのは**トウ**<sup>a</sup>だと思われるのである。

同じことは他の情報にも当てはまる。おしゃれな名前がついているからといっておいしいとは限らない。有名な産地の米でも、保存状態や調理方法が良くなければおいしくならない。有名なシェフが作った料理でも、何らかの理由でシェフが力を**ハツ**<sup>b</sup>キできていなければおいしくないだろう。

そうすると、おいしいかどうかは自分で感じたことのみに基づいて判断するしかない、と思えてくるのではないだろうか。私

たちはおいしさを舌で感じるができる。そして、舌を使って正しく感じる事ができたおいしきは、「おいしい」という判断の十分な根拠になるように思われる。

そうすると、舌から得られた情報があれば十分であり、他の情報は不要だと思われるだろう。

### III

、他の情報は感じた

ままの評価を妨げるもの、自分の純粹な体験を汚染する邪魔者に思えてくる。このようにして、自分が感じたものだけを重視し、他の情報を排除する純粹主義が支持されるようになる。

純粹主義は「舌のみで評価すべき」と主張する立場である。とはいえ、この主張はそのままでは維持できない。第一章でみたように、私たちが普段感じている味は五感すべてが働くことで得られるものだからである。舌だけでなく、眼や耳、鼻や肌で感じたものも味を構成しているのだ。

とはいえ、純粹主義者は「舌のみ」という点は放棄してもいいと言うだろう。そこは一番大事な点ではないからだ。純粹主義が否定したいのは、「値段が高い」「有名なシェフが作っている」「スープは丸二日煮込んでいる」といった情報が評価に影響することである。

こうした情報は自分の感覚器官を働かせて得られるものではない。むしろ、雑誌に書かれた「このラーメン屋のスープは丸二日煮込んでいる」という文字を見たり、誰かがそう言ったりしたのを聞いたりして、その言葉を頭で理解して得られるものだ。料理名、材料の産地、値段、料理人の経歴、調理の時間暇といった情報は「自分が感じたもの」ではなく、「言葉を介して頭で理解したもの」なのである。

純粹主義の第一目的は、こうした「言葉を介した情報」を排除することである。そのため、「舌のみ」という点は放棄しても良さそうだ。むしろ、眼や耳を使って得られる情報も、舌を使って得られる情報と同じく、「自分が感じたもの」である。それらも知覚によって得られる情報であり、評価の直接的な根拠として認められるだろう。

まとめると、純粹主義は「評価は知覚によって得られる情報のみに基づいて下すべき」と主張する立場として改訂できる。このような改訂を行っても、「おいしいかどうかは値段や産地に左右されるのはおかしいのではないか」と思う人の気持ちを拾え

ているのではないだろうか。

しかし、立場が明確になると、皮肉なことに、その弱点や難点も明るみに出てしまう。次に、純粹主義の問題をシテキし、この立場が受け入れがたいものであることを示したい。

純粹主義が特別視する知覚的な情報は、舌が反応する基本味（甘味・塩味・苦味・酸味・うま味など）、嗅覚が捉えるにおい、触覚が捉える温度・重さ・硬さ・食感、喉越し、聴覚が捉える音（咀嚼音など）、眼が捉える色・形・大きさ、といったものになるだろう。たとえばラーメンを食べるとき、そこで得られる知覚情報は「見た目は黄色で細長く、味はしょっぱくて油っぽく、それなりに噛みごたえがあり、温かい」といったものになる。こうした情報に基づいて下される「おいしい」という評価こそ、純粹主義が本物の判断とみなすものだ。

だが、ここで注意してもらいたいことがある。それは、目の前にラーメンが出てきたときに、私たちは「食べても大丈夫なのか」といちいち考えてなどいないということだ。ラーメンを初めて見た人はそうだったことを考えるだろうが、多くの人はそうではない。店で提供されるものはだいたい安全で、食べても大丈夫だと私たちは知っている。Ⅳ 店で食中毒が起こることもあるが、衛生力<sup>d</sup>がしっかりした現代の多くの飲食店で提供される食べ物はおおよそ安全だ。私たちは「店で提供されるものはだいたい安全」という知識があるからこそ、いちいち安全性を考えることなく提供されたものを食べることができる。もし安全性が確保されていなかったら、食べ物のおいを何度も嗅ぎながら少しずつ口に入れて咀嚼し、野生動物のように食べなければならぬだろう。

重要なのは、安全性に関する知識は知覚情報に含まれていないことである。もし純粹主義の認める知覚情報しか使えないなら、何かを食べるときには「食べて大丈夫なのか」というところから考えなければならぬ。だが、そんなことを考えている人はほとんどいない。もし純粹主義を支持しようと思ったら、「安全性を考えずに食べる行動は知識に汚染された不純なものであり、とるべきではない」という必要が出てくる。そして、毎回まったく知らない食べ物として安全性を一から真剣にチェックしなければならぬ。しかし、そんなことが本当にできるのだろうか。かりにできたとしても、毎回そんなことを気にかけていた

ら食事は楽しめないし、評価どころではないだろう。

(注) 『源河亭』『美味しい』とは何か』による。なお、設問の都合上、原文を一部改変した箇所がある。

〔注〕 \*第一章でみたように……問題文は第四章からのものであるが、本書の第一章で味と五感の関係について説明されている。

問一 傍線部 a ～ d と同一の漢字を使うものを、次の各群の ① ～ ⑤ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

<p>c</p> <p>シテキ</p>	<p>a</p> <p>フトウ</p>	<p>b</p> <p>ハツキ</p>	<p>a</p> <p>1</p>	<p>b</p> <p>2</p>	<p>c</p> <p>3</p>	<p>d</p> <p>4</p>
<p>⑤</p> <p>鉄にヒツテキする強度の木材</p>	<p>⑤</p> <p>突然のことでトウワクする</p>	<p>⑤</p> <p>合図があるまでタイキする</p>				
<p>④</p> <p>要点をタンテキに説明する</p>	<p>④</p> <p>前例をトウシユウする</p>	<p>④</p> <p>人生のブンキ点に立つ</p>				
<p>③</p> <p>病変部をテキシユツする</p>	<p>③</p> <p>地価がコウトウする</p>	<p>③</p> <p>事業がキドウに乗る</p>				
<p>②</p> <p>機関車がキテキを鳴らす</p>	<p>②</p> <p>議会でトウベンする</p>	<p>②</p> <p>キジョウの空論</p>				
<p>①</p> <p>環境にテキオウする</p>	<p>①</p> <p>ボウトウの挨拶</p>	<p>①</p> <p>楽団のシキ者</p>				
<p>d</p> <p>カンリ</p>						
<p>⑤</p> <p>民主主義のコンカンに関わる問題</p>						
<p>④</p> <p>勝てばカンゲン、負ければ賊軍</p>						
<p>③</p> <p>カンダンなく水が湧き出る</p>						
<p>②</p> <p>首尾イツカンした主張</p>						
<p>①</p> <p>水道のハイカン工事</p>						

問一 傍線部 A 「さぞ」を用いた次の例文のうち、「さぞ」の使い方が適切なものはいくつあるか。その数として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

5

【例文】

- ・何度連絡しても、彼からの返信はさぞ来なかつたらしい。
- ・記録的な猛暑が続き、明日はさぞ四〇度を超えることになるだろう。
- ・あれほどの努力が一瞬で水の泡になったのは、さぞ悔しかったに違いない。
- ・これだけ優秀な人材がそろっているのだから、今年はさぞ優勝できるはずだ。
- ・有名になってからはメディアにひっぱりだこで、さぞお忙しいことでしょう。

- ① 一つ    ② 二つ    ③ 三つ    ④ 四つ    ⑤ 五つ

問三

空欄

I

・ II

に入ることはとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ

I 6

II 7

- ① あるいは    ② しかし    ③ ただし    ④ たとえば    ⑤ むしろ    ⑥ よって

(同一選択肢の反復使用は不可)。

問四 傍線部B「そうした情報はおいしさを保証しない」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

8

- ① 値段や料理人、産地などの情報が、おいしさに関する純粋な評価を妨げている、ということ。
- ② 値段や料理人、産地などの情報は、おいしさとは無関係であり、評価の根拠にはならない、ということ。
- ③ 値段や料理人、産地などの情報は、料理がおいしいということを必ずしも約束するものではない、ということ。
- ④ 値段や料理人、産地などの情報は、グルメサイトのレビュー情報に比べて、おいしさの根拠としては弱い、ということ。
- ⑤ 値段や料理人、産地などの情報に振り回されず、自分の舌の感覚のみを頼りにおいしさの評価をおこなうべきだ、ということ。

問五 空欄Ⅲに入ることばとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

9

- ① 不要だからこそ
- ② 不要である一方
- ③ 不要どころか
- ④ 不要とはいえ
- ⑤ 不要ならば

問六 傍線部C「純粹主義者は「舌のみ」という点は放棄してもいいと言うだろう」とあるが、「放棄してもいいと言う」のはなぜか。筆者が考える理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

10

- ① 味は、舌のみではなく、眼や耳、鼻や肌で感じた情報も組み合わせあって構成されているという事実がある以上、「舌のみ」に限定した主張は妥当性を欠くから。
- ② 近年、純粹主義者も「言葉を紹介した情報」が評価に影響することを次第に理解しはじめており、「舌のみ」に固執していた従来の態度が軟化してきているから。
- ③ 純粹主義の第一目的は「言葉を介した情報」に影響を受けた評価を否定することであるため、この目的が達成できるのであれば、舌による知覚情報が重要だという主張を取り下げても問題はないから。
- ④ 舌よりも、眼、耳など他の感覚器官から得られる情報のほうが、おいしさを評価する根拠として決定的であるため、他の感覚器官も情報源として認めるほうが、純粹主義者の主張の改善につながるから。
- ⑤ 純粹主義者にとって重要なのは、評価の根拠が「自分が感じたもの」だけ、という点であるため、舌の場合と同様に「自分が感じたもの」である眼や耳などから得られた知覚情報を除外する必要はないから。

問七 傍線部D「このような改訂を行っても、「おいしいかどうか値段や産地に左右されるのはおかしいのではないか」と思う人の気持ちを拾っている」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

11

- ① 「言葉を介した情報」に対する純粹主義者の不満の気持ちを和らげることができている、ということ。
- ② 純粹主義の当初の主張を修正することにはなつたものの、それでも主張の核は尊重できている、ということ。
- ③ すべての純粹主義者の主張を否定したわけではなく、一部の純粹主義者の立場には寄り添うことができている、ということ。
- ④ 「舌のみ」という、主張の限定が強すぎた部分を改善したことで、純粹主義の主張の精度を高めることができた、ということ。
- ⑤ 眼や耳など舌以外の感覚器官から得られる情報も容認するよう改訂したが、舌は特別であるという純粹主義の重要部分は維持できている、ということ。

問八 傍線部Eについて、「立場が明確になると」、「その弱点や難点も明るみに出てしまう」ことは、どのような意味で「皮肉なこと」だといえるのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

12

- ① 一見して純粹主義にとって利になりそうな主張の改訂が、結局は不利に働くようになるという、逆転の結果がもたらされる、という意味で「皮肉なこと」である。
- ② 「舌のみで評価するべき」という主張が改訂されたが、この改訂は純粹主義の根本的考えを否定するものであるため、本末転倒の結果になる、という意味で「皮肉なこと」である。
- ③ 純粹主義の主張が明確になり改善されたものの、依然として主張に不明瞭な部分が目立つため、主張の改訂は中途半端な結果におわる、という意味での「皮肉なこと」である。
- ④ 筆者は純粹主義を否定すべく問題点を明確化した、それがかえって純粹主義に改善・強化のチャンスを与えることとなり、予想外の結果になる、という意味で「皮肉なこと」である。
- ⑤ 立場が明確になった分、純粹主義者は曖昧な説明で言い逃れをすることができなくなったため、徹底的な批判を受けることになり、残酷な結果をもたらす、という意味で「皮肉なこと」である。

問九 傍線部Fについて、なぜ、「目の前にラーメンが出てきたときに、私たちは「食べても大丈夫なのか」といちいち考えてなどいない」という事例は注意すべきことだと筆者は述べるのか。その理由として最も適当なもの、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① この事例は、知覚的情報よりも知識に頼ったほうが効率的な判断が下せることを示すものであり、知覚的情報に対する知識の優位性を裏づける根拠になるから。

② この事例は、純粋主義の立場では説明がつかないものであり、食の安全性という私たちの健康・命に関わる重大な問題に対して純粋主義が無力であるという事実を突きつけるものだから。

③ この事例は、「舌のみで評価すべき」という純粋主義の当初の主張を改訂したことが誤りであったことを示唆するもので、「舌のみ」の主張に戻すべきだということを示す根拠になるから。

④ 純粋主義は知識が判断に影響することを否とするが、この事例は、知識の関わりなく知覚的情報だけで判断を下すことに現実味がないことを示すもので、純粋主義の妥当性に関わることだから。

⑤ この事例は、「知覚的情報のみ」という点に固執しつづける限り、純粋主義者は食べ物の安全性の確認に過度な労力をかけることになることを示唆するものであり、純粋主義者にとっての負担の大きさが懸念されるから。

問十 空欄Ⅳに入ることばとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① 一応      ② 結局      ③ とりわけ      ④ もちろん      ⑤ もはや      ⑥ やはり

14

13

問十一 問題文の内容に最も合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

15

- ① 筆者は、純粹主義の是非に対する自らの立場を、「支持」から「不支持」へと、議論の途中で一変させている。
- ② 筆者は、おいしさに対する人々の評価が「言葉を介した情報」に汚染されている現状について、危機感を抱いている。
- ③ 筆者は、純粹主義を徹底して実践しようとした場合に突き当たる問題を明らかにし、純粹主義の限界を示唆している。
- ④ 筆者は、おいしさというものは、舌のみではなく、眼や耳、鼻や肌など五感を駆使して評価されるべきだと主張している。
- ⑤ 筆者は、食べ物の安全性について人々が飲食店の衛生カンリを信頼しきっており、自らの五感に頼った判断を下す力がないことを問題視している。

## 第二問

次は東京大学にて行われたシンポジウムの講演の一部を文章としてまとめたものである。これを読んで、後の問いに答えよ。

私たちは会話をする時、<sup>A</sup>絶えず相手が話題に対してどのような知識や感情を持っているかを推し量りながら表現を探したり変えたりしています。固有名詞を例に説明してみましょう。

### I

今回のシンポジウムの司会者を務められた安藤先生が、昨夜テレビに出演してとても面白いことを言っていたとしましょう。それを私がバネリストの阿部公彦先生に伝えたくて、「昨日安藤さんがテレビでこんなことを言っていましたよ」と話しかけても、全く不自然ではありません。

### II

同じ言葉を初対面の人にいきなり投げかけたら、<sup>B</sup>相手はきよとんとしてしまおうでしょう。「安藤さんって誰ですか？」と、不審に思われるかもしれません。

固有名詞をいきなり使って自然な会話が成立するのは、話し手と聞き手の間に対象に対する知識が共有されていることが前提になります。私も阿部さんも安藤さんも文学部のドウリョウ<sup>a</sup>ですから、この点は全く問題になりません。しかしそうではない相手に対しては言語上の配慮が必要です。たとえば「昨日のテレビで東大の国文学研究室の安藤先生という人が、こんなことを言っていましたよ」と言えば、相手もすんなりと話題に入っていきます。「東大の国文学研究室の」という修飾語は相手が必ずしも知っているとは限らない背景を提供しています。

### III

重要なのが「<sup>く</sup>という人」という表現です。これは安藤さんを誰もが知っている人としてではなく、相手が初めて耳にする人として会話の場に導入する表現です。「<sup>く</sup>という人」には固有名詞から個別性を奪い取って「名札化」し、「安藤さん」という名札をぶら下げた、とある一人の人（新情報）として会話の場に導入する働きがあります。

同様のことは実は漢文にもあります。『論語』の一例を紹介しましょう。当時の魯<sup>ろ</sup>の君主から、あなたの弟子の中で誰が学問好きですかと尋ねられた孔子は、次のように答えます。「顔回ナル者有リテ学ヲ好ム」（有顔回者好学）。日本語に訳すと「顔回という人がおりまして、学問を好んでおりました」となることから分かる通り、まさに「安藤さんという人」と同じ効果を持

つ表現です。漢文では「顔回」の後についている「者」という語が固有名詞を「名札化」する働きを担います。授業ならなぜ「者」にそのような働きがあるのかを説明するところですが、<sup>c</sup>煩雑になるのでそれは省きます。

大事なのは、なぜ孔子が弟子の顔回到「者」を付けたのかということ。孔子にとって顔回は身近な人ですが、魯の君主が知っているとは限りません。そこで「者」を付け、「あなたにとって初めて耳にする人ですよ」というマーケティングをしたのです。実はそれだけではありません。固有名詞を裸で使うことは、相手がそれに対して知識を持っていることを前提にしています。したがって、もし相手が十分な知識を持っていない場合、聞き手に対して知識の共有を強要することになってしまいます。それでは君主に対して失礼です。相手が顔回を知っているかどうかはここでは本質ではなく、君主に対して失礼ないように表現したというのがポイントです。〔ア〕

このように言葉遣いや表現の点で人間関係に配慮することを、言語学では「対人配慮」とか「politeness」という用語を使って表しています。『論語』を読むと、孔子は言葉遣いの上でポライトネスに相当敏感であったことが分かります。皆さんも固有名詞や聞きなれない言葉を裸の形で振り回す人には注意した方が良いでしょう。そういう人は自分の知識が他人も知っていて当然だと思ふ、知識の強要が好きなポライトネスに鈍感な人なのです。〔イ〕

さきほど私たちは絶えず相手の知識や感情を推し量りながら表現を変えていると述べました。人の心を推し量る、これを漢語では「忖度」と言います。忖度することは言語の本質と結びついていると思います。よくAIは言葉が苦手だと言われますが、人の心を忖度できないところに原因の一つがあるように思います。〔ウ〕

「忖度」という語は、『詩経』という中国最古の詩集に出できます。「他人に心有り、予之を忖度す」（他人有心、予忖度之）。古い注釈では、徳を具えた聖人君子が、よからぬ人の心を忖度して見破るという文脈で解釈されています。それが近年ある意味まったく逆の文脈で多用されるようになったのはとても残念なことです。〔エ〕

それともかく、時空を共有しない古代の人の心を忖度しても、正しいかどうかは分かりません。そこに古い文献を読む最大の難しさがあります。言葉の世界では、同じ言葉を使っていれば、時に齟齬を生じることがあつたとしても、自分も相手も大体

同じ感覚でものを見ているという主観性が基本的に共有されています。それは会話が成立することで実感として存在しています（もつともそのような主観性こそが言葉が必ずしも通じないイチイン<sup>o</sup>でもあるのですが）。しかし古代の人との間ではこのような感覚は確かめようがありません。我々はそれでも古代の人の心を、言葉や文化に対する知識と、言葉の使い手としての感覚をよりどころとして付度し続けるしかないのです。私たちの言葉と古代人の言葉との間には、言語としてのつながりとともに深い断絶があります。古代の文献と向き合うにはこのことを認識しておく必要があります。「オ」

無論、古代の言葉との間にあるのは断絶だけではありません。私たちが二〇〇〇年以上前の古い中国語、漢文の言葉が不十分ながらも理解できるのは、言葉自体のつながり、言葉<sup>g</sup>を操る人間としての時代を超えたつながりがあるからです。「者」にポライトネス・マーカ―の機能があるということが分かるのも、先に述べた「安藤さんという人」という日本語の表現との共通性が見て取れるからなのです。私たちはたかだか一〇〇、二〇〇程度の用例を集めて分析しただけで、あつというような発見をすることがあります。時空を超えた言葉の使い手としての人間の共通した基盤があるからです。

古代の言葉を読み解くためには、このつながりと断絶とをきちんと意識することが大事なのですが、現在の教育改革・入試改革にはその意識、特に断絶に対する意識がキハク<sup>o</sup>になっていくように感じられます。

（おわたしかつや）  
（大西克也）「古代の言葉に向き合うこと」による。なお、設問の都合上、原文の一部を改変した箇所がある。

〔注〕 \*安藤先生……………安藤宏。国文学者。(一九五八)

\*阿部公彦先生……………英文学者。(一九六六)

\*『論語』……………儒教の教典の一つ。孔子と弟子の問答を集録した書物。

\*近年ある意味まったく逆の文脈で多用されるようになった……………大阪府豊中市の国有地払い下げをめぐる森友学園問題(二〇一七)の証人喚問において、「忖度」という言葉が用いられた。この事件以降、単に相手の考えを推し量るという意味をもつ「忖度」という言葉が、「相手の顔色をうかがって便宜を図る」という意味で用いられるようになった。

問一 問題文には次の一文が欠落している。補うべき場所として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

16

人間と言葉の本質を象徴する「忖度」という言葉を汚してしまったのは、日本における言葉の危機の象徴でもあるでしょう。

- ① 〔ア〕      ② 〔イ〕      ③ 〔ウ〕      ④ 〔エ〕      ⑤ 〔オ〕

問一 傍線部 a、c と同一の漢字を使うものを、次の各群の ①～⑤ のうちからそれぞれ一つ選べ。

a  b  c

a ドウリヨウ

- ① ノウリヨウ花火大会
- ② 自宅リヨウヨウする
- ③ カンリヨウ主義を見直す
- ④ 彼はキヨウリヨウな人間だ
- ⑤ キュウリヨウから天引きされる

b イチイン

- ① インドウを渡す
- ② 危険インシになりうる
- ③ コンイン届を提出する
- ④ インボウ論に翻弄される
- ⑤ ケツイン補充をおこなう

c キハク

- ① キチの間柄
- ② キカク外の選手
- ③ キミヨウな事件
- ④ キコツのある若者
- ⑤ 平和をキキュウする

問三 空欄 I、II、III に入ることばとして最も適当なものを、次の ①～⑥ のうちからそれぞれ一

つずつ選べ (同一選択肢の反復使用は不可)。

- ① さて
- ② まず
- ③ さらに
- ④ あるいは
- ⑤ たとえば
- ⑥ ところが

I  II  III

問四 傍線部A「絶えず」・C「煩雑」・F「齟齬」の類義語として最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- |   |     |   |    |   |                       |   |    |   |                       |   |    |   |    |
|---|-----|---|----|---|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|----|---|----|
| A | 絶えず | ① | 往年 | ② | 継起                    | ③ | 始終 | ④ | 断絶                    | ⑤ | 時折 | ⑥ | 適宜 |
| C | 煩雑  | ① | 苦痛 | ② | 困難                    | ③ | 雑多 | ④ | 杜撰 <small>ずさん</small> | ⑤ | 頻繁 | ⑥ | 面倒 |
| F | 齟齬  | ① | 嫌悪 | ② | 喧嘩 <small>けんか</small> | ③ | 嫉妬 | ④ | 焦燥                    | ⑤ | 相違 | ⑥ | 不仲 |

A

C

F

問五 傍線部B「相手はきよんととしてしまう」のはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 知り合い同士ならともかく、初対面の知らない相手にいきなり話しかけられても、聞き手は戸惑ってしまうから。
- ② 話し手と聞き手との間において、対象に対する知識が共有されていないため、聞き手が話題についていけないから。
- ③ 「私」と「パネリストの阿部公彦先生」はお互い同じテレビ番組を見ていたが、初対面の相手も同じテレビ番組を見ているとは限らないから。
- ④ 初対面であるため、話し手と聞き手との間には十分な信頼関係が成立していないのに、個人的な話を投げかけるのはあまりにも配慮に欠けていたから。
- ⑤ 初対面の相手にいきなり内輪の話題を投げかけるのは配慮に欠けるため、まずは昨日同じテレビ番組を見ていたかについて聞き出すことを優先すべきだったから。

問六 傍線部D「孔子が弟子の顔回に「者」を付けた」理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

27

① 魯の君主と顔回との身分の差は歴然であるため、「名札化」することで君主の地位を脅かすことのないよう、配慮をおこなった。

② 相手も顔回を知っているという前提で話すことは魯の君主に対して失礼なふるまいであるため、「名札化」という配慮をおこなった。

③ 魯の君主が顔回を知らないことは明白だったため、孔子は「名札化」することで知識の強要を避け、魯の君主に失礼のないよう配慮をおこなった。

④ 孔子にとって顔回は身近な相手だが、魯の君主にとっては縁遠い人物であるため、「名札化」し身近に感じさせることで、相手に失礼のないよう配慮をおこなった。

⑤ 「名札化」を用いて、「顔回というのはあなたが初めて耳にする人ですよ」と魯の君主に気づかせることで、自身の弟子についてより深く理解をしておこうという孔子なりの配慮があった。

問七 傍線部E「ポライトネスに鈍感な人」として、筆者はどのような例を挙げているか。最も当てはまるものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

28

① 初対面の相手に対し、自分の話ばかりして相手の話に耳を傾けようとしない人。

② 相手の知識や感情、本心を推し量ろうとして、むやみやたらと質問攻めをしてくる人。

③ 相手が目上の立場であってもくだけた言葉遣いをやめず、対人関係に配慮ができない人。

④ 相手が知らない話題かどうかを考慮することなく、相手も知っているという前提で話す人。

⑤ 相手が知らないような難しい話題ばかりをわざと取り上げて、自分の賢さをひけらかそうとする人。

問八 傍線部G「言葉を操る人間としての時代を超えたつながり」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

29

- ① 相手が初めて耳にするであろう人物に、現代語では「〜という人」を、漢文では「者」をつけるというような、相手への配慮を目的とした話し手のふるまいは、時代を超えて確認できるということ。
- ② 『論語』や『詩経』といった非常に古い書物の内容が現在も知られているように、どれだけ長い年月が経ったとしても、書物の言葉が現在まで大切に守り継がれており、時空を超えて残されているということ。
- ③ 現代において、初対面の相手に対して敬語を使うのと同様に、『論語』や『詩経』においても、知らない相手に対する敬語の使用が確認されており、人間は時代を超えて同様の対人配慮の能力を備えているということ。
- ④ 近年、「付度」という言葉が不名誉な言い回しで多用されているが、『詩経』の時代までさかのぼれば「付度」は非常に名誉ある意味を持っており、同じ言葉を複数の意味で理解できる人間は時空を超えた言葉の使い手であるということ。
- ⑤ 古代の文献には現在の言葉と異なる部分があり、表現によっては理解が難しいこともあるが、文化や人間の本質は昔も今も変わらないため、内容に関しては誰もが同様のエピソードを体験しており、時空を超えて共感できるということ。

問九 問題文の内容に最もよく合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

30

① 古い文献を読むことの難しさの理由として、時空を共有していない古代の人がどのような感覚でものを見ていたのかを確かめられないことが挙げられる。

② 固有名詞から個別性を奪い取る「名札化」は、話題に出された人物の尊厳を脅かすはたらきを持っているという点で注意が必要である。

③ 古代の言葉を読み解くためには、現在の教育改革・入試改革では不十分であり、人同士が互いに直接やりとりできる経験の場を増やすべきである。

④ AIは人の心を推し量ることができず、また、最新の情報のみを採用するために、「忖度」のように時代によって語の意味が変わる言葉を苦手としている。

⑤ 話す相手によって話題を変え、相手の顔色をうかがいながら話すという人間関係への配慮は、時空を超えてさまざまなか場で行われてきた人間の共通基盤といえる。

### 第三問 次のそれぞれの問いに答えよ。

問一 (i) ～ (v) の空欄に入ることばとして最も適当なものを、次の各群①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 新しい技術の可能性を見抜く先見の [ ] が、ビジネスの成長につながった。

- ① 恵
- ② 知
- ③ 目
- ④ 明
- ⑤ 理

31

(ii) イベントの企画を進める際は、参加者のニーズを [ ] におく必要がある。

- ① 思案
- ② 思念
- ③ 心意
- ④ 心頭
- ⑤ 念頭

32

(iii) かつては賑やかだった商店街が、閑古鳥が [ ] ような状況になってしまった。

- ① 去る
- ② つつく
- ③ 止まる
- ④ 飛ぶ
- ⑤ 鳴く

33

(iv) 若手作家がデビュー作で頭角を [ ] 、文学界で一躍注目を浴びた。

- ① 現し
- ② 示し
- ③ 出し
- ④ 伸ばし
- ⑤ 生やし

34

(v) 大会に向けて、部員に練習にいつそう励むよう発破を [ ] 。

- ① かけた
- ② 叩いた
- ③ 募った
- ④ 飛ばした
- ⑤ 鳴らした

35

問一 (i) ～ (v) と対照的な意味をもつことばとして最も適当なものを、次の各群 ① ～ ⑤ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 革新

① 去就

②

新参

③

潜在

④

古株

⑤

保守

36

(ii) 急進

① 緩慢

②

後退

③

漸進

④

遅滞

⑤

停止

37

(iii) 潤沢

① 欠如

②

枯渴

③

衰微

④

節約

⑤

貧困

38

(iv) 精密

① 粗雑

②

素朴

③

分裂

④

奔放

⑤

未熟

39

(v) 服従

① 触発

②

率先

③

追随

④

反抗

⑤

命令

40

問三 (i) (v) のことばの使い方として最も適当なものを、次の各群①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

(i) 迂遠

- ① 周囲に気を遣って涙を堪える娘の姿がなんともいじらしい。
- ② 損得勘定だけで付き合う相手を選ぶとはいじらしいことだ。
- ③ 過ぎたことを蒸し返して相手を責めるのはいじらしい行為だ。
- ④ 何度跳ね返されてもいじらしい交渉を重ね、ついに成約にこぎつけた。
- ⑤ 大事な書類の入ったカバンを電車に置き忘れるとは、あまりにいじらしい。

(ii) 迂遠

- ① 引越しを機に、旧友たちと迂遠になってしまった。
- ② 高速道路が工事中で、目的地まで大きく迂遠を強いられた。
- ③ やって後悔するのとやらずに後悔するのでは迂遠の差がある。
- ④ 会見での説明は迂遠な言い回しが多用され、理解しがたいものだった。
- ⑤ 自宅から大学までの距離は迂遠というほどではないので電車で通学可能だ。

42

41

(iii) 腐心

- ① 細かいミスばかりに腐心して、大きな問題を見落としてしまった。
- ② 俳優の見事な演技と衝撃的な結末が相まって、来場者は誰もが腐心した。
- ③ 新しいプロジェクトの成功に向けて、チームは昼夜を問わず腐心している。
- ④ 楽しみにしていたイベントが雨で中止になり、すっかり腐心してしまった。
- ⑤ 励ますつもりでかけた一言が、かえって相手を腐心させる結果になってしまった。

(iv) 付和雷同

- ① 上の者に付和雷同するばかりでは、組織の発展は見込めない。
- ② 若者の勇気ある行動に、周囲は付和雷同し大きな拍手を送った。
- ③ 当初は不満の声も聞かれたが、最終的には何とか付和雷同するに至った。
- ④ 数人で始めたサークル活動は徐々に付和雷同し、今では大所帯となっている。
- ⑤ 民衆が力を合わせて付和雷同したことで、市政が大きく変化することとなった。

(v) プライオリティー

- ① 過度な緊張は、プライオリティーの低下につながるので平常心を保つことが大切だ。
- ② 友人同士の間柄であっても、個人のプライオリティーに関わる質問は控えるべきだ。
- ③ その場に応じて臨機応変に動けるプライオリティーの高さが、彼の昇進につながった。
- ④ 彼女のプライオリティーに富んだユニークな発言によって、場の雰囲気が一気に和んだ。
- ⑤ 仕事のプライオリティーを明確にすることは、効率的な業務遂行のために必要不可欠だ。